

### (3) 骨 材

#### 新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における平成29年度7月～9月期の骨材需給は、前年度同期と比較して、公共事業が横ばいの中、再生骨材の優先使用によりバージン材利用の減少が続いているため、出荷量、生産量は共に昨年同期と同程度であり、県計では、出荷量は3%増、生産量は4%減となった。

地区別に前年度同期比で見ると、上越地区では、出荷量で14%増、生産量で10%増、中越地区は、出荷量が増減なし、生産量で3%減、下越地区は、出荷量が増減なし、生産量で11%減、佐渡地区は、出荷量で7%減、生産量で14%減となった。

9月末の在庫量は、前年度末より4%増、前年度同期比で1%減となった。

#### 富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における平成29年度7月～9月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量が14%減、生産量が10%減といずれも減少となったが、前期(平成29年度4～6月期)比では、出荷量は7%増、生産量は9%増となった。

地区別では、東部地区は出荷量が20%の減、生産量は11%の減と5期連続で大幅な落ち込みとなった。また、西部地区では、出荷量は9%減、生産量は9%減といずれも減少となったが、前期(平成29年度4～6月期)比では、出荷量は14%増、生産量は16%増となった。

いずれの地区も公共事業量の大幅な減少と民間設備投資の減退の影響を受け、需要が低迷している。なお、両地区とも対前期比で増となっているのは、この時期における公共事業の発注が多くなっているためと考えられる。

9月末在庫量は、前期末(平成29年6月末)より、県計で1%増、地区別では東部地区が±0%、西部地区は1%増となりほとんど変化がなかった。

なお、在庫量の前年同期比では、県計が10%減、東部地区が11%減、西部地区は7%減となっている。

※東部、西部の在庫量の精査のため、平成28年度在庫量に変更あり。

#### 石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における平成29年度7～9月期の骨材(県内産)の需給状況は、引き続き加賀地区の陸砂利・川砂利と山砕石が、ともに順調に出荷を伸ばしており3期連続の増加となった。また能登地区も少ないながら前年と同量の出荷を維持したことから、県計全体の出荷量は前年同期と比べて23%の増加となった。地区別の出荷量の比較では、加賀地区は、陸砂利・川砂利が今期も27%の増加を確保し、同地区の山砕石も14%の増加となったことから、総じて加賀地区の出荷量は前年同期と比べて23%の増加となった。

また能登地区も、依然として県外からの流入材に押されているものの、今期は前年並みの出荷となった。その今期の出荷量の内訳を見ると、加賀地区の主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利については、主要な需要先である生コン業者向けの出荷は、大口需要の金沢地区が今期に入りやや低調となり前年同期比で6%の減少となり数字を落としたが、北陸新幹線関連工事の特需が本格化している南加賀地区は、前期よりさらに出荷を伸ばし、前年同期比の増加率も122%に達した。

一方、前期は大幅な増加となったアスファルト合材業者向けの出荷は、今期は伸び悩み前年同期比で3%の減少となった。よって以上を合わせた今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期比で23%の増加となった。

一方、路盤材を主体とする加賀地区の山砕石は、今期も増加基調を維持しており、前年同期比で14%の増加となった。

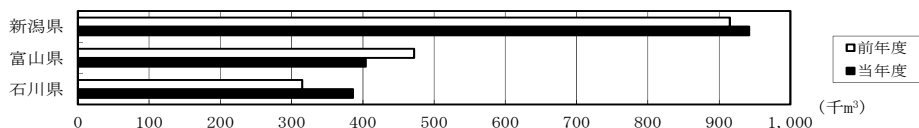
また能登地区の山砕石については、今期は前年同期と同量の出荷を確保したものの、やはり実質的な販売量は県外からの流入材に押されて依然として少なく、この地区の地場産業者の需要環境は、厳しい状況が続いている。

生産量については、加賀・能登地区共に概ね出荷量に合わせた生産体制をとっているため、県計では前年同期比で23%の増産となった。

在庫量は、加賀地区の陸砂利と川砂利の積み上がり在庫の解消が進んでいることから、県計全体の前年同期比では11%の減少となった。

上半期(H29.4～9月)の累計では、出荷量が県計で前年度上半期と比べて26%の増加となり、生産量も27%の増産となった。また在庫量は在庫整理が進み11%の減少となった。

骨材出荷量の推移（7月～9月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	平成28年度 年計	平成29年度				累計
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	出荷量	▲1 715	▲1 182	▲14 248		▲8 430	
		生産量	▲4 708	▲2 195	▲10 248		▲4 443	
		在庫量	▲4 210	▲4 224	▲8 224		▲8 224	
	中越	出荷量	▲10 1,110	▲1 278	▲0 340		▲0 618	
		生産量	▲14 1,118	▲6 281	▲3 344		▲5 625	
		在庫量	▲2 362	▲3 365	▲6 369		▲6 369	
	下越	出荷量	▲15 1,250	▲3 287	▲0 301		▲2 588	
		生産量	▲20 1,290	▲10 328	▲11 298		▲1 626	
		在庫量	▲5 702	▲12 743	▲6 740		▲6 740	
	佐渡	出荷量	▲12 206	▲29 45	▲7 53		▲6 98	
		生産量	▲6 205	▲18 45	▲14 49		▲1 94	
		在庫量	▲2 46	▲8 46	▲16 42		▲16 42	
	県計	出荷量	▲10 3,281	▲0 792	▲3 942		▲3 1,734	
		生産量	▲14 3,321	▲2 849	▲4 939		▲1 1,788	
		在庫量	▲2 1,320	▲4 1,378	▲1 1,375		▲1 1,375	
富山県	東部	出荷量	▲19 814	▲6 179	▲20 180		▲14 359	
		生産量	▲26 760	▲3 179	▲11 180		▲7 359	
		在庫量	▲65 199	▲19 199	▲11 199		▲11 199	
	西部	出荷量	▲6 889	▲8 197	▲9 224		▲8 421	
		生産量	▲2 876	▲3 194	▲9 226		▲6 420	
		在庫量	▲37 42	▲9 40	▲7 42		▲7 42	
	県計	出荷量	▲8 1,703	▲7 376	▲14 404		▲11 780	
		生産量	▲13 1,636	▲3 373	▲10 406		▲7 779	
		在庫量	▲62 241	▲18 239	▲10 241		▲10 241	
石川県	加賀	出荷量	▲8 1,216	▲31 339	▲23 381		▲27 720	
		生産量	▲4 1,192	▲32 350	▲23 372		▲27 722	
		在庫量	▲14 150	▲12 161	▲13 152		▲13 152	
	能登	出荷量	▲5 21	▲17 7	▲- 5		▲9 12	
		生産量	▲4 24	▲17 7	▲20 6		▲18 13	
		在庫量	▲60 8	▲60 8	▲80 9		▲80 9	
	県計	出荷量	▲7 1,237	▲31 346	▲23 386		▲26 732	
		生産量	▲4 1,216	▲31 357	▲23 378		▲27 735	
		在庫量	▲12 158	▲10 169	▲11 161		▲11 161	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会 員105社のうち105社

富山県

会 員86社のうち86社

非会員 1社のうち 1社

石川県

会 員21社のうち21社 (委 託加工業者含む)

非会員16社のうち9社

(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)